

山口県の 中小企業

SMALL BUSINESS ASSOCIATIONS OF THE
YAMAGUCHI PREFECTURE

12 2013
Dec
Vol.667



表紙写真説明

2013年トップセミナー開催

(山口市「西の雅 常盤」)

特集

つながる絆、ひろがる未来 ～組合 絆 ルネサンス～ 第65回中小企業団体全国大会

■「いま、これを伝えたい！」

協同組合田布施地域交流館

■新事業展開を企業連携で！ 2013年トップセミナーを開催

■業務改善助成金活用中小企業紹介

■平成25年度設立組合のご紹介

■組合等ニュース

■景況動向

■中国山東省青島市において秋焼展示会を開催

■県選奨・現代の名工 おめでとうございます

■山口県特定（産業別）最低賃金の改正について

■消費税転嫁対策事業のご案内

—いま、これを伝えたい!—

「直売所甲子園2013」優秀賞に輝く

協同組合田布施地域交流館

【設立の経緯】

「田布施地域交流館」は、新鮮で安全な地元特産品の産地直販を通して、農業生産者等の所得向上、特産品の開発促進並びに交流客の増加など、田布施町の地域活性化の拠点となることを目的に2002年に任意団体として開設されました。オープン後、業績も順調に伸びたことから、参加者の更なる結束と事業の充実を図るため、平成18年1月に組合員191名の協同組合として設立しました。

【直売所の激戦地で活動を推進】

安くて新鮮で、安全な田布施産品（野菜、果物、鮮魚、花、惣菜・弁当、菓子・パン等の加工品）の直売を行うとともに、田布施産品の良さを近



イベント風景

隣市町の方々にも広めていく活動を積極的に続けています。

組合員に対しても、農産物を生産する楽しみ等を感じてもらいながら、農業・漁業等の技術・品質向上の活動を展開しています。また、新商品の開発にも挑戦しており、年間の売上は、23年度が340,604千円、24年度が353,574千円と近隣に地元特産品の直売所がひしめき合う中、売上を順調に伸ばし、来店客数も30万人以上を毎年キープしています。



店内風景



優秀賞受賞の記念撮影

【「直売所甲子園2013」で優秀賞を受賞】

同組合では、このたび、農産物直売所日本一を決める「直売所甲子園2013」において、2011年に続き、2回目の挑戦で、「商品はほぼ100%地元産と地域連携」をアピールして、従業員全員による積極的な接客や営業により、「強力なリーダーシップのもと生産者の所得向上に向けた取り組み」が評価され、ベスト6となる優秀賞に選ばれました。直売所甲子園は、直売所の経営力向上を目的に、全国直売所研究会（東京）が2009年から隔年で開催しています。学識経験者等が直売所を訪問し、売り場や経営状況を調査する予選を経て、直売所の関係者が、事業内容について12分間のプレゼンテーション

を行う決勝大会が行われました。

今回の大会は、「直売所で農業・農村はどのように変わったか」をテーマに開催され、全国49直売所が出場、最終的に同組合を含む16直売所が10月12日〜13日に東京で開催された決勝大会に進みました。

【組合員の資質向上と地域貢献を目指して】

今後とも安心・安全な農産物等の生産知識の習得等、常に生産者の資質向上を目指し、商品のレベルアップに繋がる活動を続け、衰退気味の田布施町の農業・関連産業活性化の一翼を担えるように、元気の出る田布施町の交流拠点となり、「田布施ブランド産品」の確立に取り組み、町外からの流入に尽力していきます。

協同組合田布施地域交流館

【組合概要】

- 理事長：守田英正
- 組合員数：316名
- 組合住所：熊毛郡田布施町中央南1-8
- ☎ 0820-51-0222 FAX 0820-51-0225

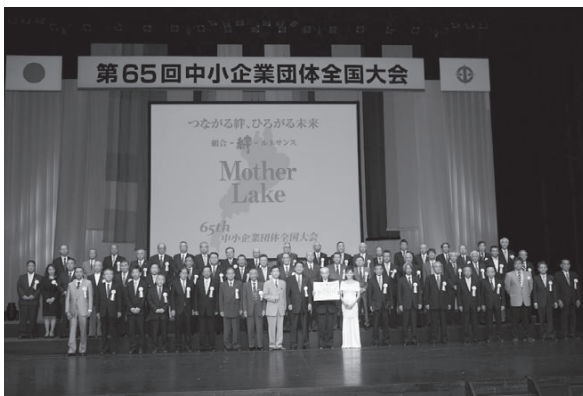
【組合の主な活動】

共同販売事業、共同宣伝事業等

つながる絆、ひろがる未来

組合 絆 ルネサンス

第65回中小企業団体全国大会開催



各部門の表彰者全員の記念撮影

第65回中小企業団体全国大会が10月24日(木)、滋賀県大津市の滋賀県立芸術劇場「びわ湖ホール」において、「つながる絆、ひろがる未来」組合 絆 ルネサンス」を合い言葉に、全国の中小企業団体の代表者ら約2,200人が参集して開催されました。大会は、びわ湖ホール音楽アンサンブルによる「ウエルカムアンサンブル」の上演に始まり、滋賀県中央会副会長による宣言で開会し、冒頭、鶴田

全国中央会会長より、「地域の中小企業が絆のもとに改めて連携の意義を確認し、地域の中小企業が日本経済の成長の主役となるよう、全力を挙げて取り組まれることを切望します。」との開会挨拶がありました。

大会第一部には、オープニングプレゼンテーションとして、滋賀県産の絹、麻、綿の織物を使用したドレスや着物のファッションショーが華やかに開催されました。

第二部では、来賓の挨拶に続いて、議長・副議長を選任し、「実感ある景気回復と経済成長の実現」並びに「中小企業の活力強化」を具体化するための中小企業対策の拡充に関する15項目について決議しました。

さらに、本大会の意義を内外に表明するため、滋賀県中小企業青年中央会会長が、「組合の団結力をさらに強化し、持てる力を組織に結集して、活力溢れる日本となるよう全力を尽くすことを誓う」とした『大会宣言』を高くらかに宣言し、最後に、中小企業基盤整備機構理事の万歳三唱によ

り閉会となりました。

これと併せて、優良組合(34組合)、組合功労者(69名)、中央会優秀専従者(43名)の表彰が執り行われ、本県からは、優良組合として、山口県左官業協同組合(理事長：下野賢一氏)、組合功労者として、吉見安岡蒲鉾協同組合理事長奥野丞氏(山口県中央会理事)、中央会優秀専従者として、前田敦指導員が表彰されました。

なお、次期全国大会は、来る平成26年10月23日(木)、東京都の日比谷公会堂において開催することとなりました。

山口県中央会会員組合・企業からの多数の御参加をお願い申し上げます。



組合功労者

吉見安岡蒲鉾協同組合
奥野 丞 理事長



優良組合

山口県左官業協同組合
下野 賢一 理事長

宣言

中小企業の景況は、全体では緩やかに回復しているものの、原材料や燃料のコスト増加の価格転嫁が進まず、収益の改善が見られないなど景気回復の実感を得られない厳しい状況にある。加えて、来年四月一日の消費税率の引上げが消費低迷、景気後退を招き、中小企業の成長に大きな支障となることが危惧される。

わが国が、デフレ状態から脱却し、持続的な経済成長を図るには、企業収益を改善させ、設備投資により労働生産性の向上を図り、新たな投資や雇を生み出す「経済の好循環」を実現する政策を進める必要がある。

また、小規模企業の交流の促進や地域の多様な主体との連携の推進が新たに明記された改正中小企業基本法が、さる九月二十日に施行された。今後は、施策の具体的な展開を図るため、小規模企業の振興を図る基本法を早期に制定するとともに、その中に、組合等連携組織の位置づけを明確化することが必要である。

本日、全国の中小企業団体の代表二千二百名は、「つながる絆、ひろがる未来」をスローガンに、マザーレイク琵琶湖を擁する湖国の地に集い、組合の原点である「相互扶助」「絆」の力を活かして、中小企業の未来を広げていくことを決議した。

政府は、一刻も早く、中小企業が景気回復の実感を得られるよう、本大会が決議した事項を早急に実現すべきである。

われわれもまた、組合の団結力をさらに強化し、持てる力を組織に結集して、活力溢れる日本となるよう全力を尽くすことを誓う。

右宣言する。

平成二十五年十月二十四日
第六十五回中小企業団体全国大会

新事業展開を企業連携で！

2013年トップセミナーを開催



伊藤会長の挨拶

本会では、11月25日(月)、山口市湯田温泉「西の雅常盤」において、会員組合の理事長や企業経営者など約100名の参加により、「2013年トップセミナー」を開催しました。

開会にあたり、本会伊藤会長より、「平成24年度補正予算である『ものづくり補助金』を活用して県内中小企業が行う新規設備投資は、本県経済の活性化に大きく寄与している。また、中山間地域での地域コミュニティの維持、雇用確保等の社会的問題の解決に向け、県内では女性の活躍する多数の企業組合があり、今後積極的に組合等の連携組織化推進を図り、地域の中で貢献できる組合の振興を図って行く。本日のセミ

ナーで、今後の企業経営や組合運営等に役立つヒントがいただけるものと大いに期待しております。」との挨拶を行いました。

続いて、同志社大学大学院客員教授で、平成20年7月まで中国経済産業局長も務められた杉田定大氏すぎたさだひろより、「ものづくり企業をはじめとした中小企業の成長戦略・新事業展開」をテーマに、少子高齢化、東南アジア等の新興市場の発展、国内取引の構造変化などを踏まえた講演をいただきました。

この中で、自動車の生産方式の変化等により、日本から部品、素材を供給し海外で組立てる流れになっており、今後周南・宇部エリアの素材型産業も大きく関わっていくであろう



講師の杉田定大氏

うとの見通しを示され、また、海外進出の際のサポート、BCPへの対応について「お互い様プロジェクト」(・タイの洪水や東北の大震災を契機として立ち上がった運動で、元々BCPからの発想。・中小企業、自治体、地域金融機関、国(経済産業省)JETRO、JICAなどが中心となり、産業クラスター間で個別協力の成功事例を積み上げていく。・東南アジアを中心とした海外でのものづくり企業の現地化支援。)の活用事例紹介の後、少子高齢化社会において、地方中核都市に人を留めるための手段としての街づくりが重要であると強調されました。新事業展開を行う際には新連携事業、地域資源活用事業、農商工連携等の国の施策を活用するとともに、自らの努力はもとより、これまでの成功事例をいかに共有できるかが肝心であり、中小企業が各自の得手不得手の分野や技術等を、組合や企業連携によって融合させて取り組むことにより、弱点を克服し、強みをさらに伸ばしていくことが重要であるとされ、講演を締めくくられました。

講演終了後には、杉田先生にもご参加いただき、交流会を開催し、山口県商工労働部橋口理事より、「本トップセミナーは県内中小企業の皆さんに気合いを入れて頂くいい機会です、本日の講演内容を糧に、国や県の施策を活用され新事業展開、海外展開など積極果敢にチャレンジして頂き、山口県の中小企業の底力を発揮して頂きたい」との励ましのお言葉をいただきました。引き続き、地方独立行政法人山口県産業技術センター小泉副理事長のご発声により協同組合田布施地域交流館で販売されている「田布施いちじくわいん」による乾杯の後、会員組合役員を始め、ものづくり補助金採択企業等による活発な情報交換が行われ、新たな技術提携の話が始まるなど、ビジネスマッチングの場としても大いに盛り上がりしました。



交流会で挨拶される
橋口県商工労働部理事

業務改善助成金活用中小企業紹介

最低賃金の引上げに取り組み、業務効率化を図る!!

『制度概要』

中小企業最低賃金引上げ支援対策費補助金制度(業務改善助成金)は、地域別最低賃金額が720円以下の県に事業場を置く中小企業主が以下の事項を実施した場合に、業務改善に要した経費の2分の1を国の予算内で助成する国(労働局)の制度です。(業務改善助成金の上限は100万円、下限は5万円です。)

- ① 最低賃金の引上げに先行して事業場内で最も低い賃金を4年以内に計画的に時間給または時間換算額で800円以上に引き上げる賃金改善計画を策定し、1年あたりの時間給等が40円以上となる引上げを実施すること。
- ② 労働者の意見を聴取の上、賃金制度の整備、就業規則の作成・改正、労働能率の増進に資する設備・器具の導入、研修等の業務改善を実施すること。

今回は、業務改善助成金活用中小企業事例として油圧式高所作業台の製作を行う下松市の「株式会社ミヨシ」(代表取締役三好哲夫氏:周南工流シティー協同組合 組合員)を紹介します。

『活用事例』

同社は、L型の形状をしたアングル鋼材を利用して高所作業台などを製作しており、あらかじめ購入したアングル鋼材を設計寸法どおりの長さに切断するにあたり、丸鋸(メタルソウ)を使用していたが、丸鋸は高額で、歯が壊れやすく、時間をかけてゆっくり切断作業をしなければなりません。

このために、鋼材を切断する作業時間が極めて短縮できる設備の導入を図り、業務の効率化を実現するとともに、効率化分を賃金の引上げに結びつけることとして、賃金改善計画を策定し、業務改善助成金を活用して、「油圧アングルカッターヘッド」という設備を導入しました。

三好社長は、「とにかく欲しい設備でしたので、この制度を活用して設備の導入ができ、業務効率も向上することができました。また、永年の懸案であった就業規則の見直しなども社会保険労務士さんにご指導いただいて実現できました。たいへんに感謝しています。」というコメントをされました。

中央会では、「山口県最低賃金総合相談支援センター」を開設し、コーディネーターの岩井氏に常駐してもらい、中小企業の相談に応じ、経営・労務改善のための専門家無料派遣や助成制度活用のお手伝いを行っていますので、お気軽にご利用下さい。



(お問い合わせ先) 山口県最低賃金総合相談支援センター 担当コーディネーター:岩井
〒753-0074 山口市中央四丁目5番16号 山口県中小企業団体中央会内 ☎083-922-2606

祝

平成25年度設立組合のご紹介

本会では、協同組合等の中小企業連携組織の設立支援を積極的に行っており、今年度11月末日現在で次の6組合の設立を支援しましたのでご紹介します。

組 合 名	設立の目的	主な事業
里の厨事業協同組合 所 在 地：光市 組 合 員 数：263名 設立年月日：4月1日	光市農業振興拠点施設「里の厨」を運営している「里の厨運営協議会」が、施設で販売している光市の農林水産業者及び食料品製造加工事業者等の経済的地位の向上を目指すとともに、社会的信頼を得ることを目的に組合を設立。	共同販売事業、共同施設の管理運営
下関・ミャンマー産業振興協同組合 所 在 地：下関市 組 合 員 数：4名 設立年月日：4月1日	組合員企業が今後、海外展開を行うための調査・研究事業を共同で行い、その結果により、ミャンマーをはじめとする東南アジアで、新事業分野への進出と需要開拓に取り組むために組合を設立。	海外事業展開に関する調査・研究事業
企業組合こころ大島 所 在 地：周防大島町 組 合 員 数：4名 設立年月日：6月26日	住み慣れた自宅で療養したいニーズがある中、看護師等が自らのスキルとキャリアを活かし、地域の医療機関と連携し、看護支援が必要な高齢者に対する訪問看護サービスの実施、高齢者を支える家族の精神面の支援、地域住民の老後に対する不安・負担の軽減を図ることを目的に設立。	訪問介護ステーションの運営
企業組合むつみ・キッチンばあーば 所 在 地：萩市 組 合 員 数：14名 設立年月日：7月26日	萩市むつみ地域の豊かな自然の中で育まれた農林水産物を直売するとともに、女性の能力を生かし地域の食材等の加工品の開発・製造販売を行うことにより、雇用と所得の向上を図り、地域の活性化を図るために地域の女性が集まり組合を設立。	菓子、惣菜、弁当等の農水産物加工品等の製造・販売
企業組合工房HaHa 所 在 地：光市 組 合 員 数：15名 設立年月日：9月25日	4月に法人化した「里の厨事業協同組合」の施設で惣菜等を販売していた女性グループが、光市地域の農林水産物を使った菓子、惣菜を直売するとともに、女性の能力を生かし地域の食材等の加工品の開発・製造販売を行うことにより地域の雇用の創出と所得の向上を図り、地域の活性化を図るために組合を設立。	菓子、惣菜、弁当等の農水産物加工品等の製造・販売
豊前田町商店街振興組合 所 在 地：下関市 組 合 員 数：53名 設立年月日：11月21日	下関駅周辺を中心市街地の豊前田町では、かつてはたくさんの人通りでにぎわったが、社会情勢等の変化により、商店街では空き店舗が目立ちはじめ、活力を失っている状況の中、かつてのにぎわいを取り戻し、若者や女性が来なくなる街づくりを目指すため商店街振興組合を設立。	販売促進事業、共同宣伝事業

明日のやまぐちを支える技

ものづくりフェスタ2013

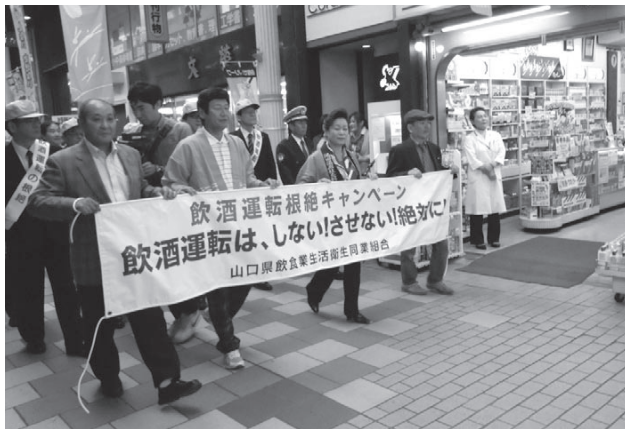
11月3日(日)、「創って、知って、再発見!明日のやまぐちを支える技」をスローガンに、「ものづくりフェスタ2013」が、山口市の維新百年記念公園スポーツ文化センターで開催され、朝からたくさん家族連れで賑わいました。当日は、18の技能士会等による「ものづくり体験フェア」や「ものづくり学園祭」と銘打ったコーナーでは高校生や専門学校生が学習成果を実演・展示しました。このフェスタには、山口県瓦工事業協同組合をはじめとして、山口県板硝子商工協同組合、山口県畳工業組合、山口県表具内装組合連合会のメンバーが楽しいものづくり体験を企画し、多くの子供達が参加し、ものづくりの面白さを体験し好評でした。



山口県瓦工事業協同組合の鬼瓦製作コーナー

飲酒運転の根絶を!!

山口県飲食業生活衛生同業組合



10月28日(月)、山口県飲食業生活衛生同業組合(永田憲男理事長)は、「飲酒運転根絶総集會」を山口市民会館で開催しました。同集會は、飲酒する機会が増える年末年始の前に、飲酒運転の撲滅を図ろうと、組合員約200人が参加し、飲酒運転根絶を誓う宣言や決議を行いました。集會後、参加者は、県警察音楽隊を先頭に中心商店街を、「飲酒運転はさせないぞ」、「飲んだら乗るな」、「飲酒運転は根絶しよう」などとシュプレヒコールを上げパレードを行いました。

毛髪供養祭を開催

山口県理容生活衛生同業組合



11月25日(月)、山口県理容生活衛生同業組合(角野悦雄理事長)は、下関市の「亀山八幡宮」にて、関係者約50名が参加して「毛髪供養祭」を執り行いました。当日は、組合員から預かったお客様の毛髪を奉納し、日頃の感謝とお客さまのご多幸、業界の発展を祈った後、全員で、同宮に建立されている「床屋発祥の地記念碑」を参拝しました。

「やまぐち美食コレクション」デザート部門で1位を獲得

企業組合がね栗の里



山口県及び株式会社おいでませ山口県(バーチャル会社)は、山口のぶちうまいものを発掘し、全国に薦める「やまぐち美食コレクション2013」を展開しました。

10部門で1、170の応募があり、10月31日(木)まで県民等による投票が行われました。

その結果、デザート部門(96メニュー)の中から、企業組合がね栗の里(下森禎充理事長)の組合員の「里山カフェ HAKU」(代表:吉岡芳美さん)が出席した「HAKUプリン」が1位を獲得し、11月22日(金)、山口市のホテルにて表彰式が行われました。

月次景況調査結果

平成25年10月期

※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合
 (表については、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

業種別の景況

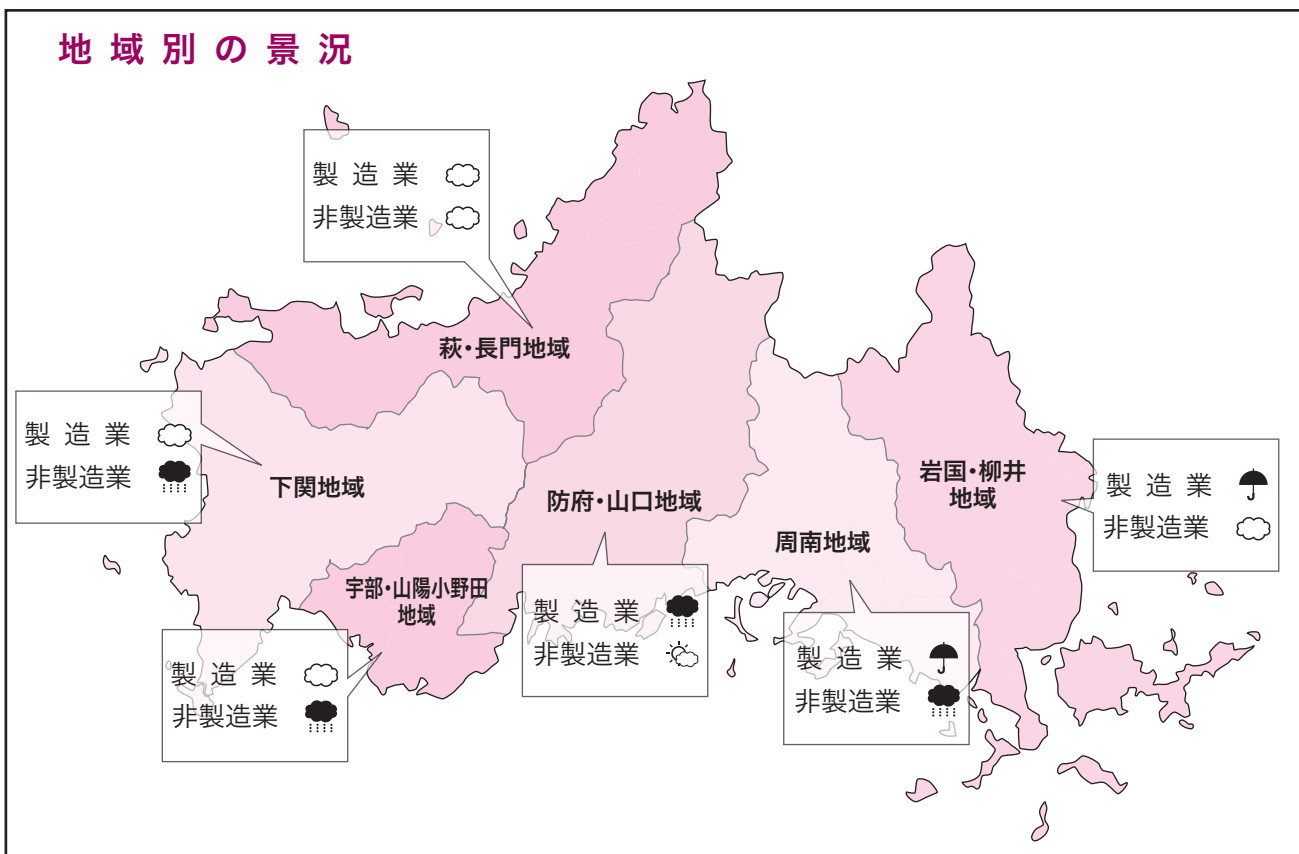
県内の「業界の景況(前年同月との比較)」は、悪いと感じている人が、先月(9月)よりも減少している。
 先月の一般機器、卸売業、建設業に加え、輸送機器、運輸業の一部で、前年よりも受注・操業度とも上向き傾向であるという報告があるが、同業種の中でも差があり、価格・納期とも依然厳しく、景気の回復を実感しないという業種も依然としてある。
 また、10月は「2度の週末台風による出控えの影響」のほか、「円安による原材料と燃料費等の高止まりの影響」により、収益を圧迫しているとの報告が多い。
 消費税増税については、小売業やサービス業では売上減少や消費税転嫁等の先行きに対する不安等の声がある。運輸業では、駆け込み需要を見込んで商品・資材の備蓄が進んでいるという報告と、荷動きが相変わらず悪いという報告が混在している。

	業 種	10月期	対前月比
製 造 業	食 料 品	☁	↘
	織 維 工 業	☁	↗
	木 材 ・ 木 製 品	☁	→
	印 刷	☂	↗
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☁	→
	一 般 機 器	☁	↘
	輸 送 機 器	☂	→
非 製 造 業	卸 売 業	☁	↘
	小 売 業	☁	↗
	商 店 街	☁	↗
	サ ー ビ ス 業	☂	→
	建 設 業	☀	↗
	運 輸 業	☁	→

DI値

- 30以上 ☀ -30以上-10未満 ☁
- 10以上30未満 ☂ -50以上-30未満 ☂
- 10以上10未満 ☁ -50未満 ☂

地域別の景況



情報連絡員報告

平成25年10月期

地区・業種を代表する県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<http://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食料品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ もち米が、「夏の高湿・9月の長雨・ウンカの発生」で全国的に不作だが、24年度分の在庫があり、価格高騰は無いであろうとのこと。 (パン・菓子製造業) ○ 2度の週末台風接近により客足が鈍り▲10%と大きく前年を割込んだ。天候に恵まれた3連休は+5%。業績は天候に左右される。 (水産食料品製造業)
	繊維工業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衣料品の国内生産は、今後も増えるとは見込めないため、国内工場は縮小と閉鎖が続くと予想をしている。 (下着類製造業) ○ 10月は仕事が少ない中で、なんとか仕事量を確保できた。月末からは仕事が入り始め、11月分は既に必要量の確保が出来ている。 (外衣・シャツ製造業)
	木材・木製品	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新設住宅着工数は、対前年より微増となっており、今後に期待。 (山口市) ○ 原木の値上がりがあるが、製品価格に転嫁できない状況。 (下関市)
	印刷	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年に比べると業績はかなり好転していると思われる。ただ紙代の値上げ、光熱費等も上昇しており、利益を圧迫している。今後は、金利の上昇と、更なる紙の値上げが非常に懸念される。 (印刷)
	窯業・土石製品	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出荷量は、前月比118%、前年同月比は115%といずれも増加。原材料値上げの動きがあるが、生コン価格は総じて安定している。山間部(災害復旧、えん堤)工事で必要となる小型生コン車が不足気味。 (生コンクリート製造業)
	一般機器	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 受注は回復傾向にあるが、バラツキが有り格差が拡大している。消費税増税後の落込みが懸念され、今後の経済対策が待たれる。 (一般機械器具製造業) ○ 金型の設備操業度は9月度に比べやや下降気味。相変わらず見積り案件は多いが、価格・納期が厳しく受注はやや低迷した状態。 (特殊産業用機械製造業)
	輸送機器	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 輸送部門は低調に推移している。精密加工、プラント部門は世の中の景気動向と同じく上向きで低迷期を脱した。 (鉄道車両・同部品製造業)
	卸売業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少しずつ良い兆しが見えてきた様子。太陽光発電等の需要が増えつつある。マツダ関連の業種では、設備操業度が好転して来た様子。 (防府市) ○ ガソリン価格の高騰に苦慮している。 (下関市)
	小売業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 回復基調が続いているが、地区内小規模事業者は、景気回復の恩恵なく足踏みの状態が続いている。売上減少の不安や消費税を売価に転嫁出来るのか等、来年4月よりの消費税増税に対する不安の声を聞く様になった。 (岩国市) ○ 9月の厳しい残暑の反動もあり、10月は久しぶりに前年比プラスとなったが、9月の減少分全てを補うまでには至っていない。 (山口市)
	商店街	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月よりは売上が若干上昇したが、台風も来て来街者数が思ったほど伸びなかった。 (山口市) ○ 10月11日~14日「萩焼まつり」、10月19日~20日「ハロウィン—inたまち」のイベント開催の来街者数は、昨年と同程度であった。 (萩市)
製 造 業	サービス業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10月の秋の行楽シーズンは台風の影響で、消費者は旅行やおしゃれを控えており、美容室の景況も変わらない。 (美容業) ○ 景気は緩やかに回復との事だが、業界は小規模零細企業が多く、景況感は依然厳しい。車検という法定需要で景気の影響が少ないと言われるが、他の売上は景気に左右される為、消費税増税の影響が心配。 (自動車整備業)
	建設業	☀	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共工事は引き続き増加傾向だが、入札額は依然として低入札。民間の一戸建て住宅の着工は増加傾向にあるが、アパート・マンション等の着工が一段落の傾向。 (土木工事業)
	運輸業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消費税増税の決定により商品・資材の備蓄が進んでいる。輸送荷物はあるのだが、当月は特殊車も含め輸送車両が不足した。 (一般貨物自動車運送業) ○ 相変わらず荷動きが悪く、軽油価格が右肩上がりに高騰し苦しい状態。小規模な仕事だが、倉庫業の方は安定した依頼がある。 (一般貨物自動車運送業)

中国山東省青島市において萩焼展示会を開催 (JAPANブランド育成支援事業)



本会では、平成25年度中小企業海外展開支援事業費補助金（JAPANブランド育成支援事業）プロジェクト名「日本の伝統文化を加味した『萩焼海外展開プロジェクト』」の一環で11月1日(金)から11月3日(日)に中国山東省青島市にて、萩焼の展示会を開催しました。

この展示会は、山口県日中経済交流促進協会と青島外商投資企業協会の協力により実現し、現地の高級カメラ販売店の一角を借り切り、約20㎡のスペースに約50点の萩焼の展示を実施しま

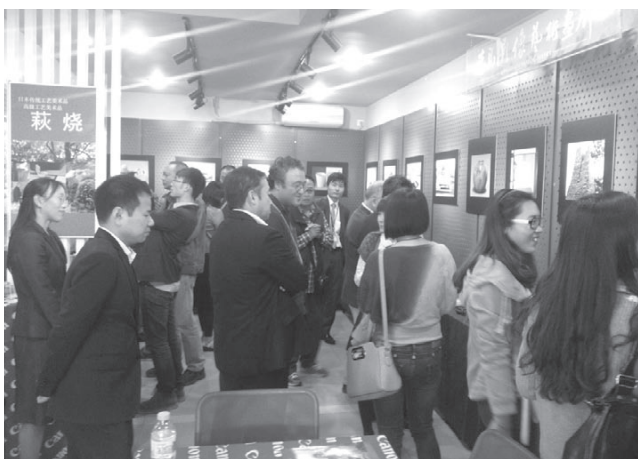
した。現地での萩焼の知名度は無いに等しく、来場者は萩焼の紹介パネルやパンフレット等を興味深く読まれていました。また、興味を集める萩焼の傾向としては、やはり、現地にもある様なコーヒーカップや湯呑みという物より、芸術性の高い花入れや壺等の萩焼に興味を示されていました。

また、青島大学で、陶芸を学んでいる学生や先生が展示会に来場され、興味深く萩焼を見られていました。これがご縁で、この度の展示会に参加していました、萩焼作家の玉村信一氏が青島大学に招かれ、学生相手に講演するという交流も生まれました。さらには、玉村氏が、学校の設備等を視察された際に、満足な設備もなかったことから、電動ロクロを寄贈し、大学の関係者から非常に感謝され、今後の萩焼陶芸家と青島陶芸家協会との文化交流の良いきっかけになるという、予想外の成果も生まれました。



中国という国での萩焼の知名度はまだまだであることから、現地での日本の伝統文化を加味した展示会開催等の地道な取り組みから知名度を向上させていき、現地の消費者に受け入れて貰える環境作りを続けることで、萩焼の海外販路の拡大に繋がっていくものと考えています。

今後は、年明け1月に台湾での展示会も予定しており、今回の青島市での経験を生かし、台湾での萩焼の販路拡大に向けての取り組みを進めていくこととしています。



卓越した技能者(現代の名工)受賞

おめでとうございます

荒川製畳所(山口県畳工業組合 組合員)
荒川 有三様

県選奨受賞おめでとうございます

【自治功労】

元山口県労働委員会委員

山田 義裕様

(宇部鉄工業協同組合 理事長・山口県中央会 副会長)

【保健衛生・環境功労】

山口県美容業生活衛生同業組合 副理事長

高野 節子様

【産業功労】

山口県技能士会連合会会長

石田 昭典様

(山口県畳工業組合 理事長)

【産業功労】

元山口県商店街振興組合連合会 理事長

大田 明様

(山口県中央会 理事)

【産業功労】

企業組合小行司健康グループ (理事長・河村久美子)

【産業功労】

山口県建設業協会 会長

井森 浩視様

(柳井土木建設業協同組合 理事長)

消費税転嫁対策事業のご案内

平成26年4月より予定されている消費税の引き上げに伴い、消費税の円滑かつ適正な転嫁に向けた「消費税転嫁対策特別措置法」が平成25年6月5日に成立し、10月1日より施行されました。

本会では、消費税率の二段階にわたる引上げや制度変更への円滑な対応のため、相談窓口の設置や専門家派遣の事業を実施しています。

お気軽に本会へお問い合わせ下さい。

1. 相談窓口の開設

消費税の適正転嫁等に関する協同組合や商店等からの相談に応じるため、消費税相談窓口を本会事務局に設置しています。

2. 事業内容(組合等への専門家派遣)

協同組合等において、消費税転嫁に係る研修会・勉強会等を希望する場合には、税理士、弁護士等の専門家を派遣します。

お問い合わせ先

連携支援第二課 水野 (☎ 083-922-2606)

山口県の最低賃金が改正されました

◆◆◆ 必ずチェック 最低賃金! 使用者も 労働者も ◆◆◆

最低賃金名	最低賃金額 1時間	効力発生の日
山口県最低賃金	701円	25.10.10

	最低賃金名	最低賃金額 1時間	効力発生の日
特定(産業別)最低賃金	鉄鋼業、非鉄金属製錬・精製業、非鉄金属・同合金圧延業、非鉄金属素形材製造業最低賃金	833円	25.12.15
	電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金	760円	
	輸送用機械器具製造業最低賃金	806円	
	百貨店、総合スーパー最低賃金	710円	21.12.15

詳しくは、厚生労働省山口労働局 賃金室 (083-995-0372) 又は最寄りの労働基準監督署におたずねください。

今月の

さわやかレター

2013
Dec



山口県火災共済協同組合
山口県中小企業共済協同組合
上田 清美さん

今年の10月に、組合の職員になられたとのこと。現在は、業務・事務全般の補助作業事務を担当されています。

趣味を伺うと、「趣味は映画鑑賞で、今、ヨガに夢中です。」と答えられました。

好きな言葉は、「楽」。仕事もプライベートも、何事にも楽しむこと。

日々心がけておられることをお聞きすると、「いつも笑顔の対応を！」

組合のPRをお願いしたところ、「火災共済は、火災事故等により経済的損失の補償、中小企業共済は、様々な病気・ケガ等による損害の保障のほか、自動車事故の補償などの共済事業を実施しています。これらの事業は、県下の中小企業の皆様の相互信頼・相互扶助の理念のもとに、組合員である中小企業者が、事故や災害に見舞われた際の経営や生活の安定を図るための支援をしています。共済関係のお問い合わせは、お気軽に当組合へご連絡下さい。」と笑顔で答えていただきました。

表紙写真

2013年トップセミナー開催
(山口市「西の雅 常盤」)

編集・発行

 山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

<http://axis.or.jp/>



印刷製本 株式会社 桜プリント社